



◆ 岩永 義仁 議員

問 経済効果は7億6200万円であり、昨年の本祭事業費1億6000万円に対しては約4・8倍の効果があつた。

答 町執行は1300年祭事業の実施にあたり、本祭予算の2倍以上の経済効果を見込んで説明してきた。昨年12月に1300年祭が終了したが、その経済効果は投資額に対してどのような結果となつたか。

問 来年度予算に肉まつりや改元フェスタの継続事業費が計上されているが1300年祭の縮小版では結局一過性のイベントではないか。

答 継続させるものを取捨選択しブラッシュアップの上「ネクスト100事業」として展開していく。

町長

経済効果は7億6千万円

1300年祭の成果は

養老改元1300年祭は5箇年ほどに渡り準備され、本祭を含めこれまでに関連予算が6〜7億円ほど投入されている。

問 町執行は1300年祭事業の実施にあたり、本祭予算の2倍以上の経済効果を見込んで説明してきた。

答 来年度予算に肉まつりや改元フェスタの継続事業費が計上されているが1300年祭の縮小版では結局一過性のイベントではないか。

問 来年度予算に肉まつりや改元フェスタの継続事業費が計上されているが1300年祭の縮小版では結局一過性のイベントではないか。

答 継続させるものを取捨選択しブラッシュアップの上「ネクスト100事業」として展開していく。

ふれあい公園の維持管理は

町長

施設の適正管理に努める



腐食が進む公園内の橋

問 これまで以上に維持管理の徹底をするよう指示を行った。今後は公共施設の適正管理に努めていく。

答 平成28年度からスポーツ連盟に委託している。定期的に巡視、除草、剪定等の維持管理が行われている。

問 清流国体が開催された平成24年に大規模修繕を行っているが、その後の維持管理はどうしているか。

答 例えば五日市川にかかる木造の橋は集成材の腐食が進み朽ちかけている。過去にメンテナンス不足で町民プールの屋根材崩落という惨事があつたが、反省が活かされなかった。またしてもメンテナンス不足が原因の事案が起きていくが見解は。

「親水・ふれあい公園」は平成7年にスマイルグラウンドと一緒に整備されたが、現在は木造橋の腐食など荒れ果てた姿をさらしつつある。

町長の政治姿勢は

町長

3期目へ挑戦

問 3期目をどのように考えているか。

答 途中となっている各事業を確かな形にしていく。「住みたくなるまち」の実現のためチームワークを大切にしながら組織で取り組み、親孝行のふるさと「養老」のため、3期目へ挑戦、全力で頑張る覚悟である。

問 町政2期目の施策に対する進捗状況は。

答 養老改元1300年祭事業の本祭を開催し、住民、各種団体、事業者との協働、交流人口の増加、地域の活性化に大きな成果を得た。地域自治町民会議の設立について人口減少社会の中、より良い地域づくりを進め、行政と協働で取り組む施策を積極的に働きかけていく。

問 町政2期目の施策に対する進捗状況は。

答 養老改元1300年祭事業の本祭を開催し、住民、各種団体、事業者との協働、交流人口の増加、地域の活性化に大きな成果を得た。地域自治町民会議の設立について人口減少社会の中、より良い地域づくりを進め、行政と協働で取り組む施策を積極的に働きかけていく。

南直江地区の浸水対策は

町長

早急に排水機を設置予定



◆ 吉田 太郎 議員

南直江地区の浸水被害は平成16年度は70戸、平成25年度は56戸、昨年は86戸の床下浸水が発生している。

問 浸水対策に対するこれまでの取り組み状況は。

答 浸水実績に基づきシミュレーションを実施し対策方法を検討した。排水ポンプ設置が有効と考え、排水方式とポンプのサイズ等について検討した。

問 排水機の設置に向けた今後の取り組みは。

答 国の交付金事業である雨水公共下水道事業を活用して、排水ポンプの設置に向けて、基本計画の策定を予算計上した。国の認可が下りれば、平成31年度に排水ポンプ施設の設計を行い、平成32年度から2箇年程度で工事を実施していく予定である。



平成25年の浸水被害